

自治体

申請者

工夫点

事前準備

交付申請

審査

交付決定

交付請求

支払い

7月～9月 来年度事業の検討

① 8～9月：国の概算要求の情報収集

10月～1月 予算要求・査定への対応

① 11～12月：国の補正予算の情報収集

① 12～2月：環境省HPより国事業の情報収集

3月 自治体事業の要件検討・制度設計

① 国から公表された先進的窓リノベ事業に関する情報の収集

7月 自治体事業の開始

申請前の初期問い合わせへの対応

申請書類を準備

申請書を受付

申請書類を提出

申請書類をチェックリストを使用して審査

メールを通じた書類不備の指摘

不備指摘に対する修正対応

補助金交付決定通知書の送付

市から送付された
補助金交付決定通知書の確認・保管提出された
補助金交付請求書の確認

補助金交付請求書を提出

指定口座への支出作業

指定口座への振込確認

● 予算要求の資料作成には先進的窓リノベ情報ステーションの掲載情報や当サイトの地方自治体向け相談窓口からの窓リノベ申請状況資料を活用

● 上乗せ補助とすることで1件あたりの補助額を抑え、予算規模も抑制

● 12月まで申請受付、2月ごろまでに交付決定・額の確定を前提とし、先進的窓リノベ事業に期限の直前で申請した方もカバーできるような申請期限（3月中旬等）を設定

● 地方工務店等を通じて消費者へも制度が周知されるよう、事業者に対して直接制度の周知を実施

● 先進的窓リノベ事業への提出書類の写しを流用可能にし、新規作成は申請書のみにするすることで、申請者の書類作成負担を抑制

申請書類一覧

- ・ 市指定の補助金交付申請書★
- ・ 国補助金の交付額確定通知書の写し◎
- ・ 国補助事業の完了時に国採択事業者へ提出した書類の写し◎
- ・ 申請者の住民票
- ・ 工事契約書または売買契約書の写し
- ・ 領収証明書

★：新たに作成する書類

◎：先進的窓リノベ事業の提出書類の写し

● 先進的窓リノベ事業の確定通知を受けていることを要件とすることで、技術審査を省略し、簡易チェックリストによる確認のみで審査。未経験職員1名でも対応可能な審査体制を実現

チェック項目例

- ・ 書類が揃っているか
- ・ すべての箇所に記載があるか
- ・ 記載に誤りがないか
- ・ 自筆であるか

● 審査は交付申請時の1回のみとし、交付請求時は口座情報のみを提出させることで、審査に係る事務負担を軽減

● 交付額確定から1か月未提出の申請者には提出を促すほか、申請期限間際の申請者に対しては、年度内で手続きが完了するよう、交付決定後速やかな請求書の提出を案内

● 振込連絡を行わないことで、職員の事務負担を軽減

目安

審査開始から補助金交付決定通知書の送付まで2週間程度

目安

補助金交付請求書の確認から支払いまで1カ月程度